

# 菊川市水道事業

## 第3回 水道料金審議会資料

料金案の比較検討及び案の絞り込みについて

令和8年5月12日

菊川市生活環境部水道課

# 目次

---

|                 |    |                |    |
|-----------------|----|----------------|----|
| 第1回、第2回審議会のおさらい | 3  | 新水道料金の補正の必要性   | 20 |
| 今後の審議会の進め方      | 4  | 新たな水道料金の妥当性の確認 | 22 |
| 料金収入見込額の確定      | 7  | 経常収支の評価        | 22 |
| 水道料金の決定に必要な前提条件 | 7  | 平均改定率の最終確認     | 23 |
| 基本料金の積算         | 8  | 新水道料金表         | 24 |
| 従量料金の積算         | 9  |                |    |
| 水量構成比の決定        | 10 |                |    |
| 負担配分方法の検討       | 12 |                |    |
| 検討案の抽出          | 12 |                |    |
| 検討案の整理・各要素の特徴   | 14 |                |    |
| 各案イメージ図         | 15 |                |    |
| 検討案の比較検討        | 16 |                |    |
| 最終案の選定          | 19 |                |    |

# 第1回、第2回審議会のおさらい

今までの審議の内容について、再度確認をお願いします。

---

本編資料 P 1

## 前回までの共有事項

### 第1回

- ・ 審議会の目的が、「水道料金の見直しの是非及び見直しの方向性について検討すること」であることを共有。
- ・ 現在の水道事業の経営面、施設面について確認。事業が抱える課題について共有。
- ・ 県内において比較的高い水準にある水道料金について、その主な要因、背景を共有。

### 第2回

- ・ 現行料金のままでは将来の収支確保が難しくなるため、事業継続に向けて料金見直しの必要性を共有。
- ・ 現行料金による収入見込みを、「年間総有収水量×供給単価」による「概算」で整理し、平均改定率8.4%を提示。
- ・ 令和9年度は上期が旧料金となるため、下期以降に必要となる改定率として9.3%を提示。
- ・ 料金案を示し、基本料金・従量料金、段階別単価等の「料金の組み立て方」について共有。

# 今後の審議会の進め方

今後の審議の流れについて確認をお願いします。

本編資料 P 2～3

## 今後の審議フロー

- 1 料金収入見込額の確定**  
「概算」ではなく「積算」により料金収入見込み額を算定し、「水道料金案」の土台を確定
- 2 負担配分方法の検討**  
「水道料金案」を基に、固定費の配分×逓増度の違いを比較し、負担配分ルールを絞り込む
- 3 最終案の調整**  
不合理な増加率が認められる場合、口径別基本料金の微調整により他口径とのバランスを是正
- 4 新たな水道料金の妥当性の確認**  
料金収入・経常収支・資金残高を点検し、事業継続性を最終確認

最後にこれらを踏まえ、答申案の結論・理由・留意点を整理します。

# 今後の審議会の進め方

第2回審議会にてお示した改定率は、概算であることを確認願います。

本編資料P2

第2回では、改定の必要性及びその規模感を「概算」による方法で共有しました。  
第3回では、料金見込額（改定率）を「積算」により決定し、その上で案の比較・絞り込みを行う必要があります。  
このため、前回提示しました平均改定率の目安である8.4%（9.3%）は、一旦リセットしてください。

## 概算による平均改定率

第2回審議会では、平均改定率を以下により算定していました。（第2回資料 概要版P26参照）

$$\text{平均改定率} = (\text{総括原価} \div \text{料金収入見込額} - 1) \times 100$$

$$\text{料金収入見込額} = \text{年間総有収水量} \times \text{供給単価} \Rightarrow \text{概算方式}$$

料金改定の  
必要性を判断

概算方式では、例えば無料水量帯である基本水量比が増加すれば、料金収入が減額となることまで見込まれていません。



新たな料金水準を検討する段階では、積算方式による料金収入見込み額を算定し、精度を上げる必要があります。

# 今後の審議会の進め方

積算により改定率を算定する必要性について、確認をお願いします。

本編資料 P 2

## 積算による平均改定率

積算により改定率を算出する際は、料金収入見込み額を以下のとおりとします。

**平均改定率 = 概算による方法と同じです。ただし、料金収入見込み額は以下のとおりです。**

**料金収入見込額** = 基本料金収入の積算 + 従量料金収入の積算 ⇒ **積算方式**

} 料金水準の  
設計に必要

このため、概算による料金収入と積算による料金収入は完全には一致せず、一定の差が生じます。

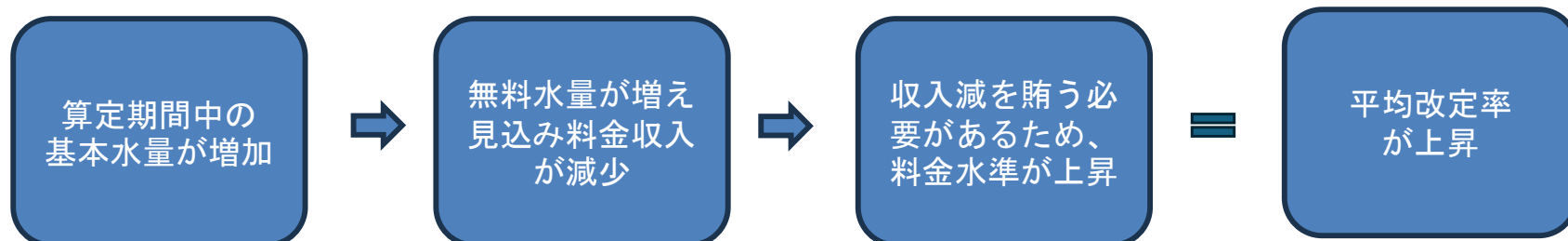
**概算による料金収入 ≠ 積算による料金収入**

つまり、改定率も概算と積算とでは一致しません。

**概算による平均改定率 ≠ 積算による平均改定率**

例えば、平均改定率は以下の理由で上昇します。

改定率が上昇するイメージ



### 前提条件

第 2 回水道料金審議会までに決定した条件は以下のとおりです。

- ①必要収入：5,961,768千円（総括原価）
- ②算定期間：令和 9 年度～令和13年度の 5 年間 ただし初年度は半年間旧料金
- ③料金体系：口径別基本料金及び水量別逦増型従量料金の 2 部料金制
- ④基本水量：1 月当たり 8 m<sup>3</sup>の基本水量は無料

次項では、料金収入の見込み額を算定する上で必要な残りの条件を整理します。

# 料金収入見込額の確定

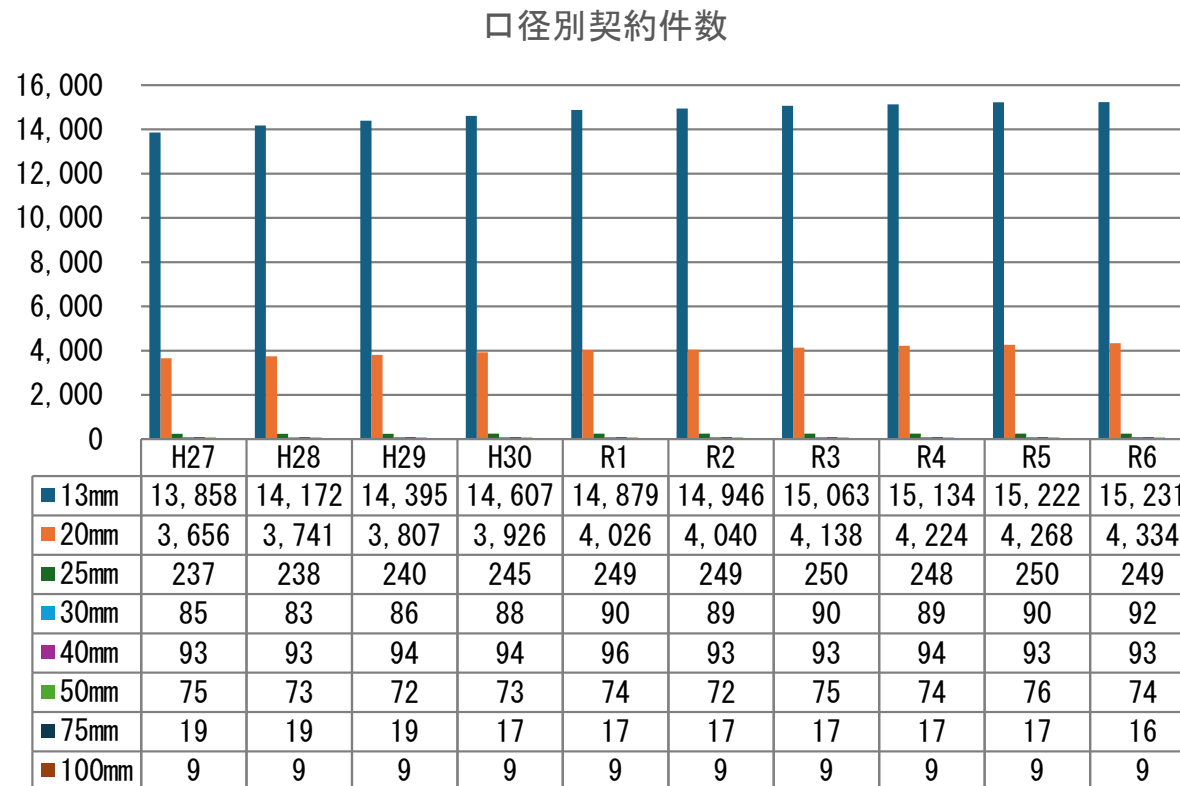
口径別契約件数の実績と今後の推計方法について確認願います。

## 基本料金の積算

本編資料 P 4

### 基本料金

基本料金の積算を行う上で欠かせないのが、口径別の契約件数です。



出典：使用水量段階別集計表

口径別件数は、短期（5年程度）では見通しが比較的安定していることから、ここでは10年実績に基づく推計結果を用い、口径別基本料金との積により基本料金の積算を行います。

# 料金収入見込額の確定

水量構成比について確認をお願いします。

## 従量料金の積算

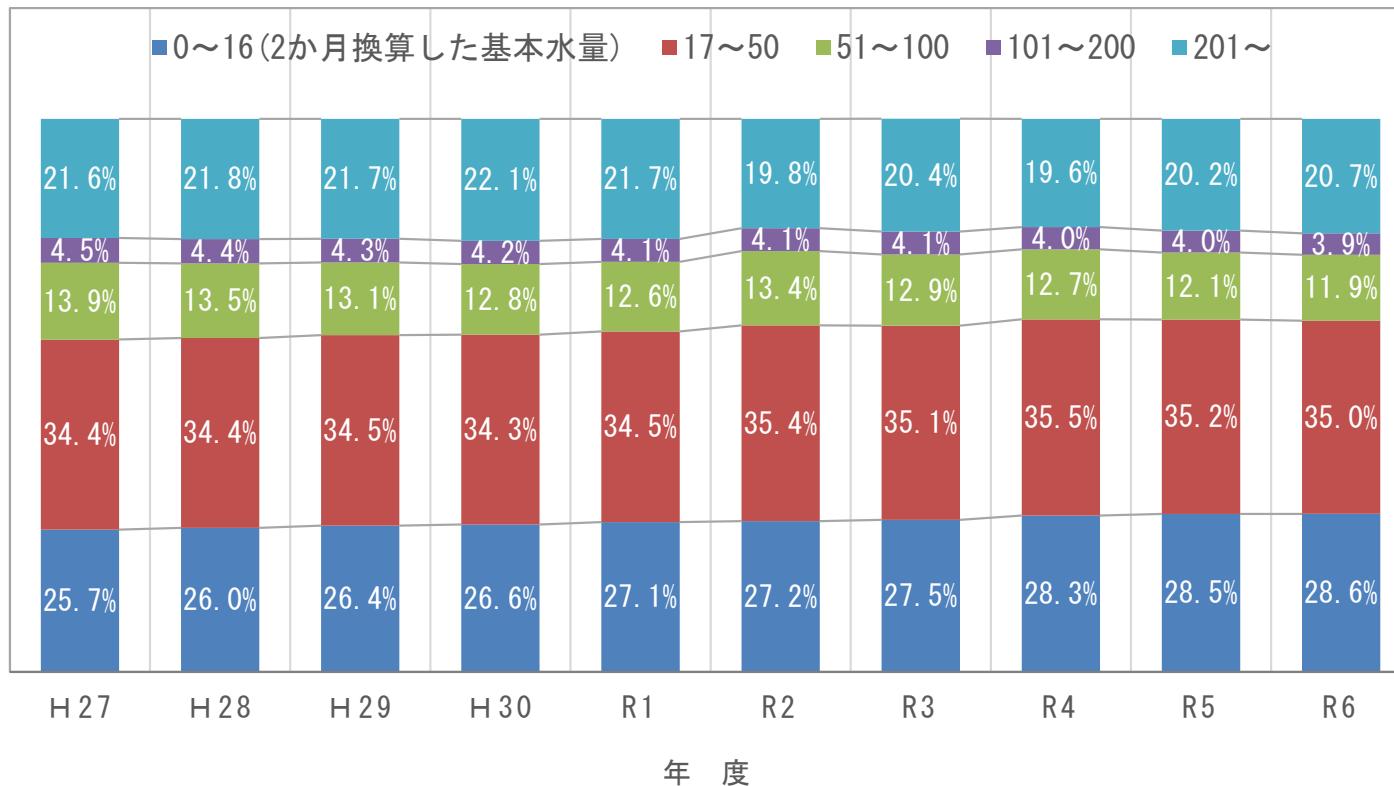
本編資料 P 5

### 従量料金

従量料金を積算するにあたって、大きな影響を与えるのが有収水量全体に占める基本水量（1月当たり8m<sup>3</sup>の無料水量）の割合です。

令和6年度の基本水量構成比は28.6%を占め、過去10年では増加傾向です。（増加傾向＝収入減の要因）  
基本水量比は今後の水道料金を決定するうえで重要な要素となりますので、3案による比較を行い決定します。

段階別水量構成比（実績）



今後の見込みは？  
3案で比較

# 料金収入見込額の確定

各案の特徴、事務局案の確認をお願いします。

## 水量構成比の決定

本編資料 P 6~7

### 今後の水量構成比に関する3つの案

#### 案① | R6実績を採用した推計

改定率は最も低いが、将来に基本水量比率がさらに高まると計画収入を下回りやすい。

#### 案② | 直近傾向を重視した推計

案①と案③の中間案。過度な上振れ・下振れを避け推計と実績の乖離による影響を抑えやすい。

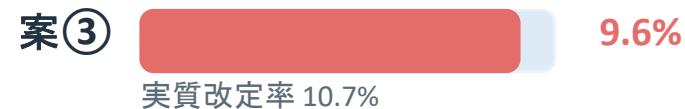
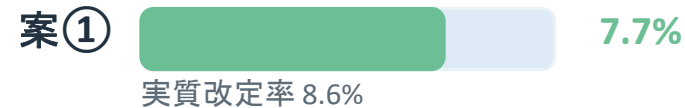
#### 案③ | 過去10年の実績に基づく推計

改定率は最も高く収入不足リスクは抑えやすい一方、利用者負担が最も高く収入上振れ懸念もある。

料金収入の見込み額が低いと想定される場合、それを補うため改定率を上げる必要があります。

### 積算による平均改定率

(実質改定率を併記)



収入不足  
リスク  
高



低

#### 事務局案

案②を採用。改定率8.5% (9.5%)  
利用者負担の抑制と、推計誤差による減収リスク抑制の両立を重視。

# 料金収入見込額の確定

案別の暫定水道料金案について、確認をお願いします。

## 水量構成比の決定

本編資料P8

### 今後の水量構成比別料金案

案①：料金水準が最も安価

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金<br>(円) |       |
|------------|---------|---------|---------------------------|-------------|-------|
|            | 税抜      | 税込      |                           | 税抜          | 税込    |
| φ13        | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |             |       |
| φ20        |         |         | 16超 ~ 50                  | 193.0       | 212.3 |
| φ25        | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 209.0       | 229.9 |
| φ30        | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 226.0       | 248.6 |
| φ40        | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 239.0       | 262.9 |
| φ50        | 22,120  | 24,332  |                           |             |       |
| φ75        | 62,400  | 68,640  |                           |             |       |
| φ100       | 132,220 | 145,442 |                           |             |       |

案③：料金水準が最も高価

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金<br>(円) |       |
|------------|---------|---------|---------------------------|-------------|-------|
|            | 税抜      | 税込      |                           | 税抜          | 税込    |
| φ13        | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |             |       |
| φ20        |         |         | 16超 ~ 50                  | 198.0       | 217.8 |
| φ25        | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 215.0       | 236.5 |
| φ30        | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 232.0       | 255.2 |
| φ40        | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 246.0       | 270.6 |
| φ50        | 22,120  | 24,332  |                           |             |       |
| φ75        | 62,400  | 68,640  |                           |             |       |
| φ100       | 132,220 | 145,442 |                           |             |       |

### 事務局案

案②：料金水準は①、③の中間

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金<br>(円) |       |
|------------|---------|---------|---------------------------|-------------|-------|
|            | 税抜      | 税込      |                           | 税抜          | 税込    |
| φ13        | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |             |       |
| φ20        |         |         | 16超 ~ 50                  | 195.0       | 214.5 |
| φ25        | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 213.0       | 234.3 |
| φ30        | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 230.0       | 253.0 |
| φ40        | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 242.0       | 266.2 |
| φ50        | 22,120  | 24,332  |                           |             |       |
| φ75        | 62,400  | 68,640  |                           |             |       |
| φ100       | 132,220 | 145,442 |                           |             |       |

現状、固定費の配分は負荷率により行っているため、全ての案において基本料金は同額です。

また、固定費の配分方法及び従量料金における逡増度（最高単価÷最低単価）の違いによる案の提案は、水量構成比の確定後に行います。

第2回資料で例として掲載した料金案は、案③を用いて試算したものです。

# 負担配分方法の検討

決定された料金水準の負担配分方法について、確認をお願いします。

検討案の抽出

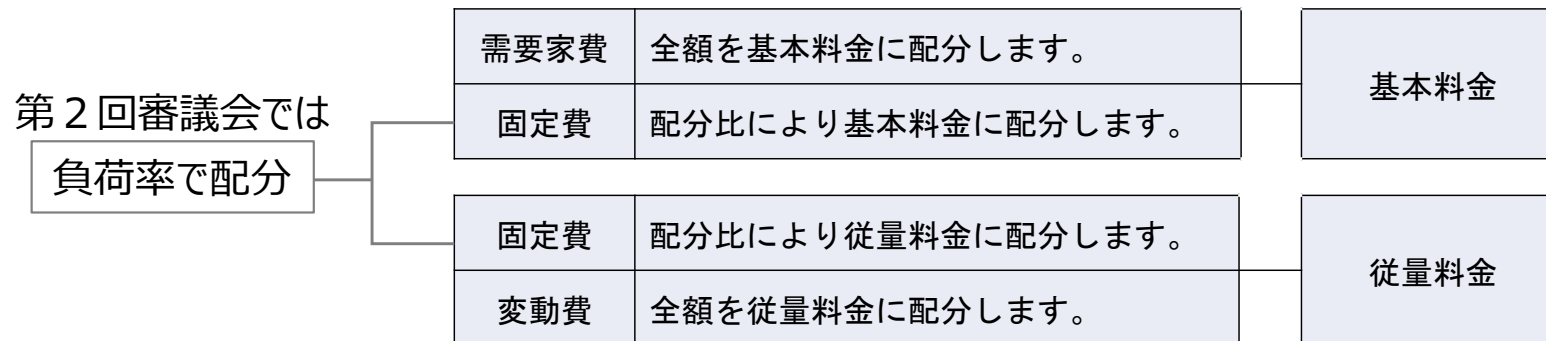
本編資料 P 10～11

## 負担配分ルールの検討

負担配分は“固定費配分”と“逓増度”の2つの要素の組み合わせにより行います。

### 固定費の配分

第2回審議会では、総括原価の配分について説明をいたしました。そして、水道料金の組み立て方では、固定費を負荷率により配分した例をお示しました。（第2回資料 概要版 P 20参照）



固定費の配分方法は、これまでの負荷率に加え施設利用率を用いて比較検討を行います。

I : 負荷率の割合を従量料金、残余を基本料金 → **従量料金が厚め**  
基本料金 : 26.78%      従量料金 : 73.22%

II : 施設利用率の割合を従量料金、残余を基本料金 → **基本料金が厚め**  
基本料金 : 29.35%      従量料金 : 70.65%

### 逓増度

第2回審議会では、現行料金の逓増度を1.24とし、新たな料金案でも1.24の逓増度とした従量料金を示していました。（第2回資料 概要版 P 30参照）

現行の従量料金

| 水量区分(m <sup>3</sup> ) | 従量料金(円) 税抜 |
|-----------------------|------------|
| 16超 ~ 50              | 180.9      |
| 50超 ~100              | 190.9      |
| 100超 ~200             | 204.5      |
| 200超 ~                | 223.6      |

$$\text{逓増度} = \text{最高単価} / \text{最低単価} = 223.6 / 180.9 = 1.24$$

逓増度は、これまでの1.24に加え1.20以下を利用して比較検討を行います。

A：逓増度1.24 → 多量使用者である業務用の負担が増加 → **逓増度強め**  
最高単価が上昇するイメージ

B：逓増度1.20以下 → 家事用を含む幅広い使用者の負担が増加 → **逓増度弱め**  
最低単価が上昇するイメージ

# 負担配分方法の検討

固定費の配分、逡増度の強弱の各特徴について、確認をお願いします。

## 検討案の整理・各要素の特徴

本編資料 P 11～13

### 検討案の整理

- I - A案：従量料金が厚め + 逡増度強め
- I - B案：従量料金が厚め + 逡増度弱め

- II - A案：基本料金が厚め + 逡増度強め
- II - B案：基本料金が厚め + 逡増度弱め

### 各要素の特徴

#### I：従量料金が厚め(従量比率を高める)

##### 特徴

- ・使った分だけ負担する割合を高める。

##### メリット

- ・節水への動機づけが強い（使うほど高くなる）。
- ・多量使用者へ相対的に負担が寄りやすい。

##### 注意点

- ・収入が景気や天候に左右されやすい。

#### II：基本料金厚め(基本比率を高める)

##### 特徴

- ・使う量に関係なく負担する割合を高める。

##### メリット

- ・収入が安定（水量減でも基本料金部分が残る）。

##### 注意点

- ・少量使用者の負担感が出やすい。
- ・節水への動機づけは相対的に弱まる。

#### A：逡増度強め(段階別水量単価の幅を広げる)

##### 特徴

- ・使った分だけ負担する割合を高める。

##### メリット

- ・少量使用者にとっては負担の小さい案となる。

##### 注意点

- ・業務用等の多量使用者の負担割合が大きくなる。

#### B：逡増度弱め(段階別水量単価の幅を狭める)

##### 特徴

- ・負担割合を広げる。

##### メリット

- ・業務用等の多量使用者の負担割合が小さくなる。

##### 注意点

- ・少量使用者の負担割合が大きくなる。

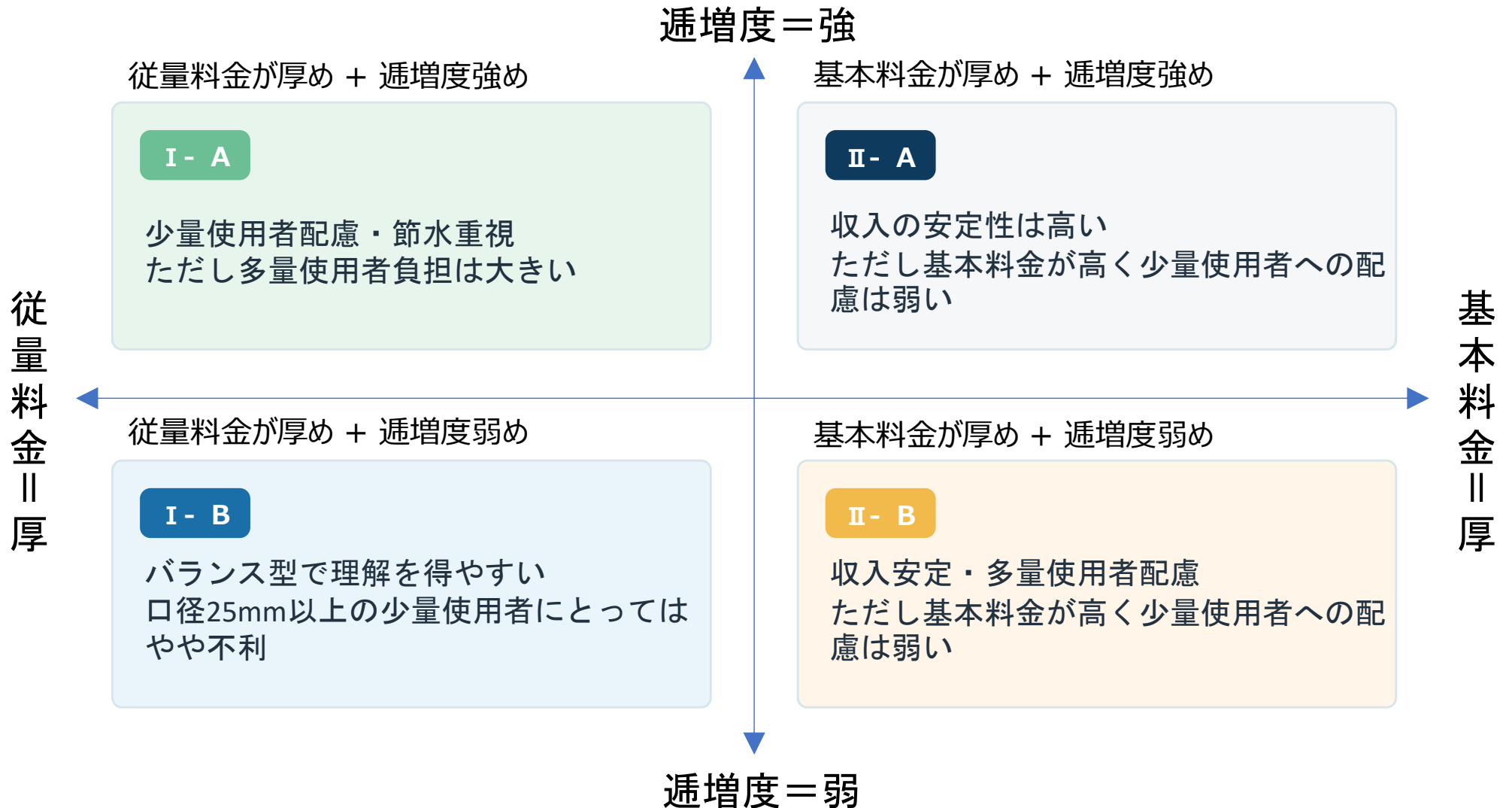
# 負担配分方法の検討

各要素の組み合わせによる検討案の特徴について、確認をお願いします。

各案イメージ図

水量構成比案を前提に、固定費配分(Ⅰ/Ⅱ)と逓増度(A/B)の各要素を組み合わせ比較します。

本編資料 P 14



以下は、水量構成比案②を前提にした資料です。審議会当日、案②以外が採用された場合には、必要資料を当日配布いたします。

# 負担配分方法の検討

各検討案別の料金水準について、確認をお願いします。

## 検討案の比較検討

### 料金水準の比較

本編資料 P 15

**I - A案**：従量料金厚め + 逓増度強 2月当たり

| 口径<br>(m/m) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|-------------|---------|---------|---------------------------|----------|-------|
|             | 税抜      | 税込      |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13         | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20         |         |         | 16超 ~ 50                  | 195.0    | 214.5 |
| φ25         | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 213.0    | 234.3 |
| φ30         | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 230.0    | 253.0 |
| φ40         | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 242.0    | 266.2 |
| φ50         | 22,120  | 24,332  |                           |          |       |
| φ75         | 62,400  | 68,640  |                           |          |       |
| φ100        | 132,220 | 145,442 |                           |          |       |

**II - A案**：基本料金厚め + 逓増度強 2月当たり

| 口径<br>(m/m) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|-------------|---------|---------|---------------------------|----------|-------|
|             | 税抜      | 税込      |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13         | 2,580   | 2,838   | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20         |         |         | 16超 ~ 50                  | 190.0    | 209.0 |
| φ25         | 4,120   | 4,532   | 50超 ~ 100                 | 207.0    | 227.7 |
| φ30         | 6,560   | 7,216   | 100超 ~ 200                | 224.0    | 246.4 |
| φ40         | 13,740  | 15,114  | 200超 ~                    | 236.0    | 259.6 |
| φ50         | 24,020  | 26,422  |                           |          |       |
| φ75         | 67,940  | 74,734  |                           |          |       |
| φ100        | 144,260 | 158,686 |                           |          |       |

**I - B案**：従量料金厚め + 逓増度弱 2月当たり

| 口径<br>(m/m) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|-------------|---------|---------|---------------------------|----------|-------|
|             | 税抜      | 税込      |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13         | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20         |         |         | 16超 ~ 50                  | 200.0    | 220.0 |
| φ25         | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 210.0    | 231.0 |
| φ30         | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 222.0    | 244.2 |
| φ40         | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 237.0    | 260.7 |
| φ50         | 22,120  | 24,332  |                           |          |       |
| φ75         | 62,400  | 68,640  |                           |          |       |
| φ100        | 132,220 | 145,442 |                           |          |       |

**II - B案**：基本料金厚め + 逓増度弱 2月当たり

| 口径<br>(m/m) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|-------------|---------|---------|---------------------------|----------|-------|
|             | 税抜      | 税込      |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13         | 2,580   | 2,838   | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20         |         |         | 16超 ~ 50                  | 195.0    | 214.5 |
| φ25         | 4,120   | 4,532   | 50超 ~ 100                 | 206.0    | 226.6 |
| φ30         | 6,560   | 7,216   | 100超 ~ 200                | 217.0    | 238.7 |
| φ40         | 13,740  | 15,114  | 200超 ~                    | 230.0    | 253.0 |
| φ50         | 24,020  | 26,422  |                           |          |       |
| φ75         | 67,940  | 74,734  |                           |          |       |
| φ100        | 144,260 | 158,686 |                           |          |       |

# 負担配分方法の検討

各案の平均使用水量における現行料金との差額について、確認をお願いします。

## 検討案の比較検討

### 現行料金との比較

※家事用負担割合 **低** I - A → II - A → I - B → II - B **高**  
 業務用負担割合 **高** I - A ← II - A ← I - B ← II - B **低**

本編資料 P 15

#### I - A案：従量料金厚め + 逓増度強 2月当たり：税込

| 口径 (mm) | 使用水量 (m <sup>3</sup> ) | 現行料金 (円)  | 新水道料金 (円) | 現行料金との差額 (円) | 増加率 (%) |
|---------|------------------------|-----------|-----------|--------------|---------|
| φ13     | 35                     | 6,290     | 6,730     | 440          | 7.00    |
| φ20     | 42                     | 7,680     | 8,230     | 550          | 7.16    |
| φ25     | 110                    | 22,380    | 25,740    | 3,360        | 15.01   |
| φ30     | 297                    | 67,770    | 76,810    | 9,040        | 13.34   |
| φ40     | 380                    | 91,400    | 106,150   | 14,750       | 16.14   |
| φ50     | 1,159                  | 287,180   | 323,920   | 36,740       | 12.79   |
| φ75     | 1,062                  | 277,690   | 342,410   | 64,720       | 23.31   |
| φ100    | 5,502                  | 1,390,070 | 1,601,140 | 211,070      | 15.18   |

#### II - A案：基本料金厚め + 逓増度強 2月当たり：税込

| 口径 (mm) | 使用水量 (m <sup>3</sup> ) | 現行料金 (円)  | 新水道料金 (円) | 現行料金との差額 (円) | 増加率 (%) |
|---------|------------------------|-----------|-----------|--------------|---------|
| φ13     | 35                     | 6,290     | 6,800     | 510          | 8.11    |
| φ20     | 42                     | 7,680     | 8,270     | 590          | 7.68    |
| φ25     | 110                    | 22,380    | 25,480    | 3,100        | 13.85   |
| φ30     | 297                    | 67,770    | 75,520    | 7,750        | 11.44   |
| φ40     | 380                    | 91,400    | 104,970   | 13,570       | 14.85   |
| φ50     | 1,159                  | 287,180   | 318,500   | 31,320       | 10.91   |
| φ75     | 1,062                  | 277,690   | 341,640   | 63,950       | 23.03   |
| φ100    | 5,502                  | 1,390,070 | 1,578,210 | 188,140      | 13.53   |

#### I - B案：従量料金厚め + 逓増度弱 2月当たり：税込

| 口径 (mm) | 使用水量 (m <sup>3</sup> ) | 現行料金 (円)  | 新水道料金 (円) | 現行料金との差額 (円) | 増加率 (%) |
|---------|------------------------|-----------|-----------|--------------|---------|
| φ13     | 35                     | 6,290     | 6,840     | 550          | 8.74    |
| φ20     | 42                     | 7,680     | 8,380     | 700          | 9.11    |
| φ25     | 110                    | 22,380    | 25,670    | 3,290        | 14.70   |
| φ30     | 297                    | 67,770    | 75,420    | 7,650        | 11.29   |
| φ40     | 380                    | 91,400    | 104,300   | 12,900       | 14.11   |
| φ50     | 1,159                  | 287,180   | 317,790   | 30,610       | 10.66   |
| φ75     | 1,062                  | 277,690   | 336,810   | 59,120       | 21.29   |
| φ100    | 5,502                  | 1,390,070 | 1,571,120 | 181,050      | 13.02   |

#### II - B案：基本料金厚め + 逓増度弱 2月当たり：税込

| 口径 (mm) | 使用水量 (m <sup>3</sup> ) | 現行料金 (円)  | 新水道料金 (円) | 現行料金との差額 (円) | 増加率 (%) |
|---------|------------------------|-----------|-----------|--------------|---------|
| φ13     | 35                     | 6,290     | 6,910     | 620          | 9.86    |
| φ20     | 42                     | 7,680     | 8,410     | 730          | 9.51    |
| φ25     | 110                    | 22,380    | 25,540    | 3,160        | 14.12   |
| φ30     | 297                    | 67,770    | 74,250    | 6,480        | 9.56    |
| φ40     | 380                    | 91,400    | 103,140   | 11,740       | 12.84   |
| φ50     | 1,159                  | 287,180   | 311,540   | 24,360       | 8.48    |
| φ75     | 1,062                  | 277,690   | 335,310   | 57,620       | 20.75   |
| φ100    | 5,502                  | 1,390,070 | 1,542,580 | 152,510      | 10.97   |

※家事用、業務用の負担割合の傾向は、全ての口径に当てはまるわけではありません。

# 負担配分方法の検討

条件別使用水量における現行料金からの負担増加率について、確認をお願いします。

## 検討案の比較検討

### 負担増加率の比較

本編資料 P 16

平均使用水量の1/2

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | I - A  | II - A | I - B  | II - B |
|------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|
|            |                               | 従量厚    | 基本厚    | 従量厚    | 基本厚    |
|            |                               | 逓増度 強  |        | 逓増度 弱  |        |
| φ13        | 18                            | 6.19%  | 11.68% | 6.53%  | 12.03% |
| φ20        | 21                            | 6.57%  | 10.86% | 7.43%  | 11.71% |
| φ25        | 55                            | 18.54% | 19.57% | 20.13% | 21.25% |
| φ30        | 149                           | 17.45% | 16.50% | 16.19% | 15.73% |
| φ40        | 190                           | 24.14% | 24.31% | 22.42% | 23.07% |
| φ50        | 580                           | 17.30% | 16.20% | 15.26% | 14.02% |
| φ75        | 531                           | 36.71% | 38.57% | 34.89% | 36.65% |
| φ100       | 2,751                         | 21.80% | 21.13% | 19.71% | 18.68% |

平均使用水量

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | I - A  | II - A | I - B  | II - B |
|------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|
|            |                               | 従量厚    | 基本厚    | 従量厚    | 基本厚    |
|            |                               | 逓増度 強  |        | 逓増度 弱  |        |
| φ13        | 35                            | 7.00%  | 8.11%  | 8.74%  | 9.86%  |
| φ20        | 42                            | 7.16%  | 7.68%  | 9.11%  | 9.51%  |
| φ25        | 110                           | 15.01% | 13.85% | 14.70% | 14.12% |
| φ30        | 297                           | 13.34% | 11.44% | 11.29% | 9.56%  |
| φ40        | 380                           | 16.14% | 14.85% | 14.11% | 12.84% |
| φ50        | 1,159                         | 12.79% | 10.91% | 10.66% | 8.48%  |
| φ75        | 1,062                         | 23.31% | 23.03% | 21.29% | 20.75% |
| φ100       | 5,502                         | 15.18% | 13.53% | 13.02% | 10.97% |

平均使用水量の1.25倍 (φ13, 20mmのみ 2 倍)

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | I - A  | II - A | I - B  | II - B |
|------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|
|            |                               | 従量厚    | 基本厚    | 従量厚    | 基本厚    |
|            |                               | 逓増度 強  |        | 逓増度 弱  |        |
| φ13        | 70                            | 8.61%  | 7.49%  | 9.50%  | 8.75%  |
| φ20        | 84                            | 9.14%  | 7.67%  | 9.56%  | 8.59%  |
| φ25        | 138                           | 14.44% | 12.90% | 13.35% | 12.34% |
| φ30        | 371                           | 12.26% | 10.19% | 10.17% | 8.14%  |
| φ40        | 475                           | 14.52% | 12.95% | 12.45% | 10.81% |
| φ50        | 1,449                         | 11.88% | 9.84%  | 9.73%  | 7.36%  |
| φ75        | 1,328                         | 20.43% | 19.69% | 18.37% | 17.33% |
| φ100       | 6,878                         | 13.82% | 11.97% | 11.64% | 9.38%  |

平均使用水量の1.5倍 (φ13, 20mmのみ 3 倍)

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | I - A  | II - A | I - B  | II - B |
|------------|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|
|            |                               | 従量厚    | 基本厚    | 従量厚    | 基本厚    |
|            |                               | 逓増度 強  |        | 逓増度 弱  |        |
| φ13        | 105                           | 9.71%  | 7.94%  | 9.62%  | 8.37%  |
| φ20        | 126                           | 10.18% | 8.19%  | 9.40%  | 7.92%  |
| φ25        | 165                           | 14.07% | 12.28% | 12.49% | 11.25% |
| φ30        | 446                           | 11.55% | 9.37%  | 9.43%  | 7.20%  |
| φ40        | 570                           | 13.45% | 11.69% | 11.36% | 9.46%  |
| φ50        | 1,739                         | 11.27% | 9.12%  | 9.10%  | 6.61%  |
| φ75        | 1,593                         | 18.48% | 17.43% | 16.39% | 15.02% |
| φ100       | 8,253                         | 12.90% | 10.91% | 10.72% | 8.31%  |

料金負担増加率は、色が濃いほど現行料金からの増加率が大きい（影響が大きい）ことを示しています。

# 負担配分方法の検討

各案の評価について、確認をお願いします。

最終案の選定

本編資料 P 21

## 各案評価のとりまとめ

| 評価軸       | I - A | II - A | I - B | II - B |
|-----------|-------|--------|-------|--------|
| 少量使用者への配慮 | 2     | 0      | 1     | 0      |
| 多量使用者への配慮 | 0     | 1      | 1     | 2      |
| 収入の安定性    | 0     | 2      | 1     | 2      |
| 節水意識の向上   | 2     | 1      | 1     | 0      |
| 負担増加の平準性  | 0     | 1      | 2     | 0      |
| 合計        | 4     | 5      | 6     | 4      |

2点：相対的にメリットが大きい

1点：中間

0点：課題が大きい

### 評価の読み取り

- I - Aは少量使用者への配慮が大きく、節水重視だが、多量使用者の負担が重い。
- II - A / II - Bは収入の安定性は高いが、少量使用者に負担が寄りやすい。
- 節水意識の向上は、I - Aが強く、II - Bは相対的に弱い。
- I - Bは家事用・業務用の一方への偏りが小さく、負担増加の平準性に優れる。

### 結論

第3回資料では、I - B案を最終案として採否判断をいただきたいと思います。

# 新水道料金の補正の必要性

新料金の補正の必要性について確認をお願いします。

本編資料 P 22

## 現行水道料金表との比較

現行水道料金表

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |        | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|------------|---------|--------|---------------------------|----------|-------|
|            | 税抜      | 税込     |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13        | 2,285   | 2,514  | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20        |         |        | 16超 ~ 50                  | 180.9    | 199.0 |
| φ25        | 2,611   | 2,872  | 50超 ~ 100                 | 190.9    | 210.0 |
| φ30        | 3,765   | 4,142  | 100超 ~ 200                | 204.5    | 225.0 |
| φ40        | 6,694   | 7,363  | 200超 ~                    | 223.6    | 246.0 |
| φ50        | 10,461  | 11,507 |                           |          |       |
| φ75        | 23,527  | 25,880 |                           |          |       |
| φ100       | 41,837  | 46,021 |                           |          |       |

新水道料金表

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金 (円) |       |
|------------|---------|---------|---------------------------|----------|-------|
|            | 税抜      | 税込      |                           | 税抜       | 税込    |
| φ13        | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |          |       |
| φ20        |         |         | 16超 ~ 50                  | 200.0    | 220.0 |
| φ25        | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 210.0    | 231.0 |
| φ30        | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 222.0    | 244.2 |
| φ40        | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 237.0    | 260.7 |
| φ50        | 22,120  | 24,332  |                           |          |       |
| φ75        | 62,400  | 68,640  |                           |          |       |
| φ100       | 132,220 | 145,442 |                           |          |       |

増加率

| 口径<br>(mm) | 基本料金          | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金  |
|------------|---------------|---------------------------|-------|
| φ 13       | 5.9%          | 0 ~ 16                    |       |
| φ 20       |               | 16超 ~ 50                  | 10.6% |
| φ 25       | 46.3%         | 50超 ~ 100                 | 10.0% |
| φ 30       | 61.5%         | 100超 ~ 200                | 8.5%  |
| φ 40       | 89.1%         | 200超 ~                    | 6.0%  |
| φ 50       | 111.5%        |                           |       |
| φ 75       | 165.2%        |                           |       |
| φ100       | <b>216.0%</b> |                           |       |

### ■ 補正の必要性の判断

新料金では、φ100mmの基本料金の増加率が高いものの、平均使用水量における請求総額の増加率は、13.0%であり、実負担として突出しているわけではありません。(次項参照)

以上より、料金の補正は行いません。

# 新水道料金の補正の必要性

## 平均使用水量による比較

平均使用水量料金表 2月当たり：税込

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行料金<br>(円) | 新水道料金<br>(円) | 現行料金<br>との差額<br>(円) | 増加率<br>(%)  |
|------------|-------------------------------|-------------|--------------|---------------------|-------------|
| φ13        | 35                            | 6,290       | 6,840        | 550                 | 8.7         |
| φ20        | 42                            | 7,680       | 8,380        | 700                 | 9.1         |
| φ25        | 110                           | 22,380      | 25,670       | 3,290               | 14.7        |
| φ30        | 297                           | 67,770      | 75,420       | 7,650               | 11.3        |
| φ40        | 380                           | 91,400      | 104,300      | 12,900              | 14.1        |
| φ50        | 1,159                         | 287,180     | 317,790      | 30,610              | 10.7        |
| φ75        | 1,062                         | 277,690     | 336,810      | 59,120              | <b>21.3</b> |
| φ100       | 5,502                         | 1,390,070   | 1,571,120    | 181,050             | 13.0        |

### ■ 補正の必要性の判断

φ75mmは増加率が高く見えますが、これは基本料金の引上げ幅に対し、その増加分を薄めるほど使用水量が大きくないためです。

同一使用水量条件下でも、大口径ほど増加率が高くなることから、φ75のみが特別に不合理なものではありません。

以上より、料金の補正は行いません。

同一水量使用した際の料金表 2月当たり：税込

| 口径<br>(mm) | 使用<br>水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 現行料金<br>(円) | 新水道料金<br>(円) | 現行料金<br>との差額<br>(円) | 増加率<br>(%) |
|------------|-------------------------------|-------------|--------------|---------------------|------------|
| φ40        | 1,062                         | 259,180     | 282,090      | 22,910              | 8.8        |
| φ50        | 1,062                         | 263,320     | 292,500      | 29,180              | 11.1       |
| φ75        | 1,062                         | 277,690     | 336,810      | 59,120              | 21.3       |
| φ100       | 1,062                         | 297,830     | 413,610      | 115,780             | 38.9       |

# 新たな水道料金の妥当性の確認

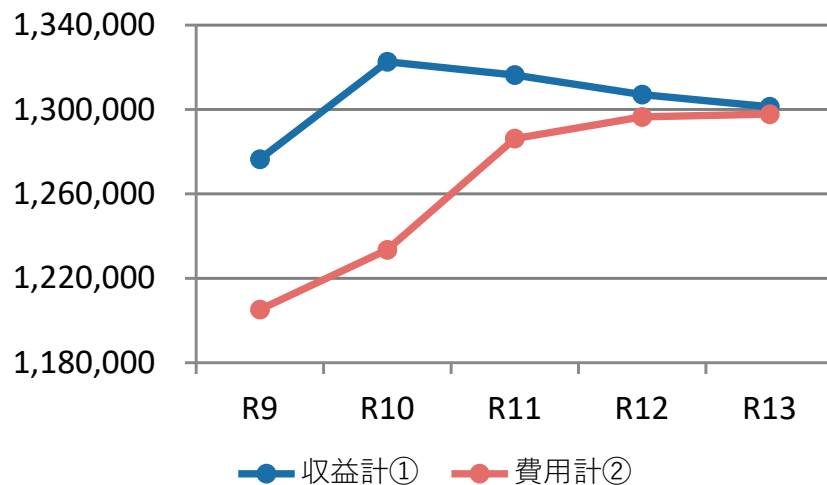
料金算定期間における事業の持続性の確認をお願いします。

## 経常収支の評価

本編資料 P 24～25

料金収入見込、経常収支、内部留保資金を確認し、算定期間5年間で持続の可能性を点検

### 収益的収支（千円）

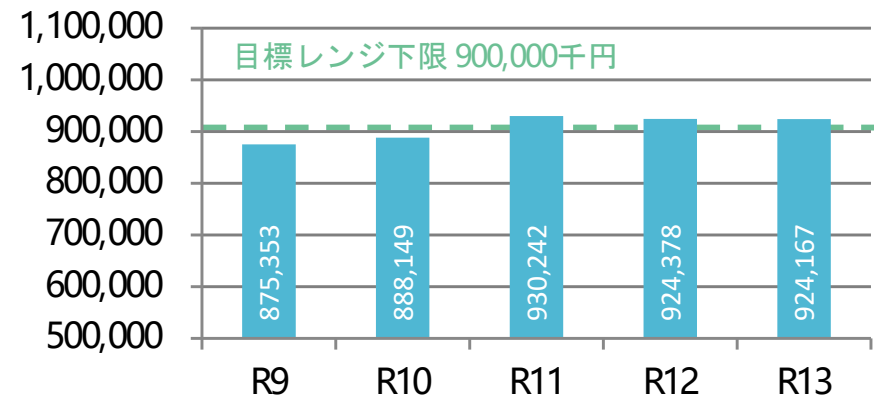


### 読み取り

各年度の損益は R9: +71,283千円 → R13: +3,585千円で黒字を維持。年度別で料金回収率が100%を一時下回る年もあるが、算定期間累計では必要収入と整合。

※各指標値は、本編 P 24 を参照願います。

### 資金残高（千円）・主要指標



#### 平均改定率

8.5%  
実質改定率  
9.5%

#### 経常収支比率

106.09% →  
100.43%

#### 累積欠損金比率

0.00%を維持

内部留保資金は一部年度で目標レンジに届かないものの、年間事業経費程度は確保。(企業債にて調整可能)  
企業債残高は増加傾向だが設定した目標値以下で推移。

※年間事業経費 = 減価償却費を除く収益的支出及び企業債償還金

# 新たな水道料金の妥当性の確認

新たな水道料金における平均改定率の最終確認をお願いします。

平均改定率の最終確認

本編資料 P 25

## 平均改定率

積算方式による平均改定率は、(総括原価÷現行水道料金収入見込額 - 1)×100でしたが、

ここでは、新たな料金水準による料金収入見込額を用いて、平均改定率を再確認します。

$$\begin{aligned}\text{平均改定率} &= (\text{新水道料金収入見込額} \div \text{現行水道料金収入見込額} - 1) \times 100 \\ &= (5,961,964 \text{千円} \div 5,492,715 \text{千円} - 1) \times 100 \\ &= 8.54\end{aligned}$$

$$\doteq \mathbf{8.5\%}$$

$$\text{実質改定率} = 8.54 \div 0.89866$$

$$= \mathbf{9.5\%}$$

# 新水道料金表

新たな水道料金について、改めて確認をお願いいたします。

本編資料 P 26

新水道料金表

2月当たり

| 口径<br>(mm) | 基本料金(円) |         | 段階水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 従量料金(円) |       |
|------------|---------|---------|---------------------------|---------|-------|
|            | 税抜      | 税込      |                           | 税抜      | 税込    |
| φ 13       | 2,420   | 2,662   | 0 ~ 16                    |         |       |
| φ 20       |         |         | 16超 ~ 50                  | 200.0   | 220.0 |
| φ 25       | 3,820   | 4,202   | 50超 ~ 100                 | 210.0   | 231.0 |
| φ 30       | 6,080   | 6,688   | 100超 ~ 200                | 222.0   | 244.2 |
| φ 40       | 12,660  | 13,926  | 200超 ~                    | 237.0   | 260.7 |
| φ 50       | 22,120  | 24,332  |                           |         |       |
| φ 75       | 62,400  | 68,640  |                           |         |       |
| φ100       | 132,220 | 145,442 |                           |         |       |

周辺市との比較

1月当たり：税込

| 事業体        | 使用水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 水道料金<br>(円)  | 使用水量<br>(m <sup>3</sup> ) | 水道料金<br>(円)  |
|------------|---------------------------|--------------|---------------------------|--------------|
| 御前崎市       | 10                        | 1,298        | 20                        | 3,014        |
| 掛川市        | 10                        | 1,466        | 20                        | 3,299        |
| <b>菊川市</b> | <b>10</b>                 | <b>1,770</b> | <b>20</b>                 | <b>3,970</b> |
| 牧之原市       | 10                        | 1,760        | 20                        | 3,685        |

類似団体との比較

1月当たり：税込

| 使用水量                      | ※類似団体  | 菊川市    |
|---------------------------|--------|--------|
| 1か月10m <sup>3</sup> (家庭用) | 1,865円 | 1,770円 |
| 1か月20m <sup>3</sup> (家庭用) | 3,832円 | 3,970円 |

出典「水道事業経営指標：令和6年度（総務省）」